

# 家康公の必勝!スポット

両親が子宝祈願をした寺、大戦の前に参詣した伊賀八幡宮や大旗を奉納した賀茂神社など、家康公ゆかりの寺社仏閣と、自らが神になった東照宮へ。

愛知・蒲郡

## ⑤ 八百富神社

やおとみじんじや

自然のパワーに満ちた  
風光明媚な竹島にある

竹島弁財天(市杵島姫命)を祀る神社。関ヶ原の戦いの前に家康公が参拝して勝利したという伝承がある。自然の気やパワーを感じられるスポットとしても人気が高い。



① 0533-68-3700 ② 愛知県蒲郡市竹島町3-15 ③ 境内自由

愛知・岡崎

## ⑥ 伊賀八幡宮

いがはちまんぐう

徳川家の守護神として大戦の前に必ず参詣

1470(文明2)年に、松平4代親忠が創建。松平家の氏神であり、家康公は大きな戦の前には必ず参詣したとされている。3代家光は、徳川家の武運長久や子孫繁栄の守護神である伊賀八幡宮に家康公を合祀した。



① 0564-26-2789 ② 愛知県岡崎市伊賀町東郷中86 ③ 境内自由

愛知・岡崎

## ⑦ 瀧山寺・瀧山東照宮

たきさんじ・たきさんとうしょうぐう

由緒ある古刹と並び日本三大東照宮がある

1300年前に開かれた古刹、瀧山寺と、隣接する瀧山東照宮。3代家光により創建された東照宮は、日光東照宮、久能山東照宮と並び「日本三大東照宮」に数えられている。江戸前期の東照宮様式の極彩色の社殿が美しい。



① 0564-46-2296 ② 愛知県岡崎市滝町山輪107 ③ 境内自由 ※宝物殿は9:00~17:00 ④ 不定休(瀧山寺)、土日のみ営業(瀧山東照宮) ⑤ 宝物殿V400、東照宮は別途Y200

歴史トピックス  
東照宮の由来

家康公は「一周忌が過ぎたら日光山に神として祀ること」という遺言を残し、死後朝廷から東照大権現の神号が贈られて日光東照宮が建立された。全国の東照宮は、東照大権現である家康公を祀る神社のこと。

Column

### 寅童子伝説

薬師如来には、それぞれ千支の守り神とされる12人の眷属(けんぞく)があり、風来寺には12体の眷属の像が安置されている。家康公が、寅年、寅の日、寅の刻に生まれると、寅の守り神である真達羅大将(しんだらだいしょう)が風来寺から消え去り、家康公が亡くなると元の位置に戻ったという。その不思議な言い伝えから、家康公が真達羅大将の生まれ変わりとする寅童子伝説が語られるようになった。

愛知・新城

## ① 鳳来寺・鳳来山東照宮

ほうらいじ・ほうらいさんとうしょうぐう

両親の願いを叶えた寺と秘話から誕生した東照宮

703(大宝3)年に利修仙人によって開かれた鳳来寺。広忠と於大の方が子宝祈願に訪れ、その翌年に家康公を授かったという。鳳来山東照宮は、家康公の誕生秘話に感動した3代家光によって建立された。



① 0536-35-1004(鳳来寺) / 0536-35-1176(鳳来山東照宮) ② 愛知県新城市門谷字鳳来寺 ③ 9:00~16:30(鳳来寺) 9:00~16:00(鳳来山東照宮) ④ なし ※鳳来寺山パークウェイ駐車場は8:00~18:00 ⑤ 駐車料Y550~

愛知・豊橋

## ② 安久美神戸神明社

あくみかんべしんめいじや

祭りの思い出とともに大切にされた神社

赤兎と天狗の闘いを表現した豊橋鬼祭りが有名。1554(天文23)年、家康公が13歳の時に境内の松の根元に腰掛けて鬼祭を観覧したといわれる。征夷大將軍になった後、神領や太刀などを寄進した。



① 0532-52-5257 ② 愛知県豊橋市八町通3-17 ③ 境内自由 ※受付時間9:00~16:00

愛知・田原

## ③ 長仙寺

ちやうせんじ

本陣の寺で祈祷し、東三河の平定を実現

如意輪観自在菩薩を本尊とする真言宗の寺。吉田城を攻略した家康公が、田原城を攻撃するために1565(永祿8)年に本陣を張った。家康公は戦勝祈祷と前厄祈祷をし、その霊験から田原城を攻略できたとされている。



① 0531-27-0817 ② 愛知県田原市六連町居屋敷26 ③ 境内自由

愛知・豊橋

## ④ 賀茂神社

かもじんじや

家康公ゆかりの大旗神事が伝わる神社

遠州出陣の武運長久を祈願して大旗を奉納した家康公が、後に天下人となったことから必勝祈願や立身出世にご利益があるとされる。その後、家康公が衛生祭用に奉納した大旗は、今も大旗神事で飾られている。



① 0532-88-3359 ② 愛知県豊橋市賀茂町宇神山1 ③ 境内自由

風来寺山



その生涯を感じられる  
家康公にまつわる寺社

合戦はもちろん、飢饉、病氣などが発生することで、死と隣り合わせだった戦国時代。死が身近で、自らも誰かを殺める可能性のあった戦国武将たちには、死に慣れている印象があるかもしれない。しかし、武将でも、商人でも、農民でも、変わらぬ命はひとつであり、また戦国武将においては、身内、家臣、同盟国であっても裏切りが付きものであった。そのため神仏を心の拠り所として頼った戦国武将は多く、戦場に向かう途中に神社や仏閣があれば、そこで必勝祈願することは普通のことだったとか。各地の神社・仏閣に武将の参拝の記録が数多く残っていることも、そのためと考えられる。特に信仰を集めたのは武運長久に霊験のある神であった。家康公も松平家の子孫繁栄や武運長久の守護神である伊賀八幡宮に、大きな戦いの前に参拝をしたと伝わっている。家康公の信心深さについては定かではないが、折に触れ神仏への参拝や寄進を欠かさなかった。家康公の一生で見れば、生まれる前の父母の風来寺参拝に始まり、自身の死後の日光東照宮の造営や3代家光による鳳来山東照宮造営があり、後の徳川の歴代將軍にも信仰が引き継がれていったのである。

# 4 三河・遠州 必勝! 家康街道 天下人の願いを叶えた パワースポットへ

命の危機が身近だった戦国武将は神仏に心の拠り所を求めていたとか。両親が子宝祈願をした風来寺や戦勝祈願をした伊賀八幡宮など、家康公ゆかりの神社・仏閣、家康公が祀られた東照宮などへ参拝しよう。